

令和3年10月

**令和3年度「歩行者セーフティ  
『ピカッと守る・ふくしま運動』」  
第2回反射材用品等着用実態調査結果**

福島県警察本部  
交通部交通企画課

1 調査日時

令和3年10月11日（月）から同年10月15日（金）の間における夜間帯（各日午後5時30分から午後6時30分までの1時間）

2 調査対象

65歳以上の高齢歩行者（770人）

3 調査場所

各警察署・各分庁舎において選定した反射材用品等着用推進モデル地区内のスーパー・コンビニエンスストア等商業施設やバス停留所、住宅街など、高齢歩行者が通行する機会の多い道路を選定の上、着用実態を調査した。

4 調査方法

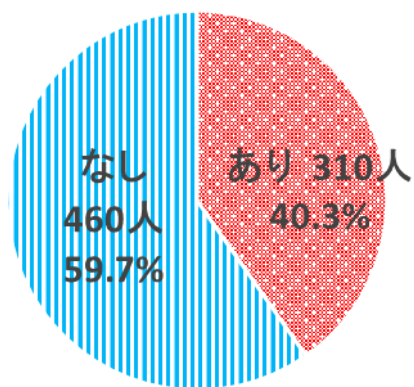
歩行者の年齢を確認の上、目視による反射材用品等の着用の有無について調査した。

5 調査結果の概要

(1) 着用状況

770人中310人着用  
(着用率40.3%)

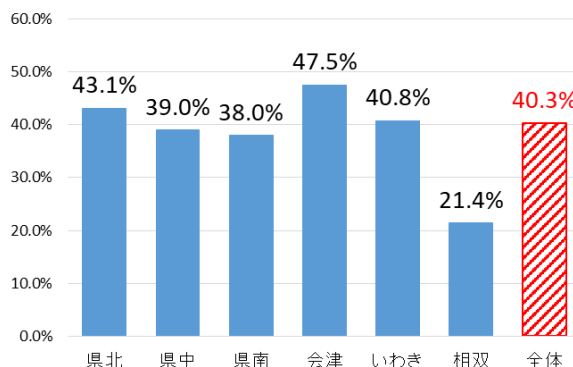
着用状況



(2) 反射材用品等着用率

ア 方部別着用率

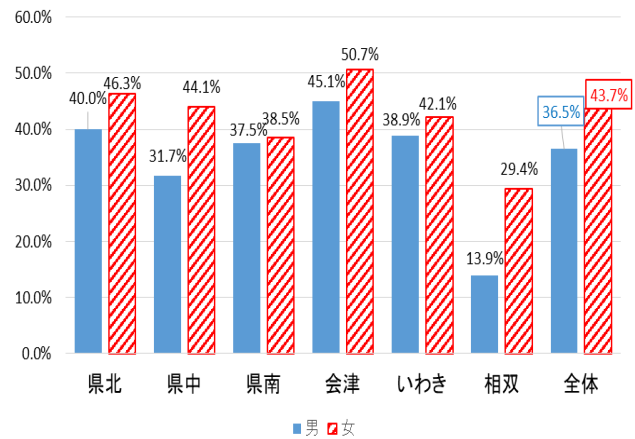
方部	着用	非着用	着用率
県北	69人	91人	43.1%
県中	78人	122人	39.0%
県南	19人	31人	38.0%
会津	76人	84人	47.5%
いわき	53人	77人	40.8%
相双	15人	55人	21.4%
全体	310人	460人	40.3%



※ 方部別の着用率の特徴  
「会津」が高く、「相双」が低い。

## イ 男女別着用率

方部	着用		非着用		着用率	
	男	女	男	女	男	女
県北	32	37	48	43	40.0%	46.3%
県中	26	52	56	66	31.7%	44.1%
県南	9	10	15	16	37.5%	38.5%
会津	41	35	50	34	45.1%	50.7%
いわき	21	32	33	44	38.9%	42.1%
相双	5	10	31	24	13.9%	29.4%
全体	134	176	233	227	36.5%	43.7%



### ※ 男女別着用率の特徴

県全体の着用率は、女性の着用率が男性より高い。  
 県中では女性が男性を大きく上回っている。

## ウ 警察署別着用率

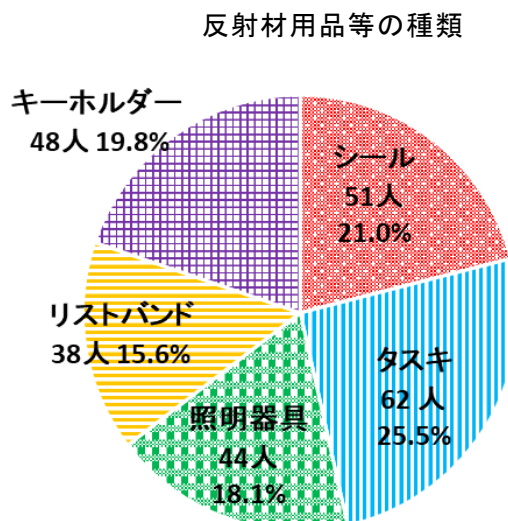
警察署名	第1回	第2回	増減(ポイント)
福島	22.0%	30.0%	8.0
川俣	35.0%	50.0%	15.0
福島北	40.0%	43.3%	3.3
桑折	80.0%	80.0%	0
伊達	35.0%	40.0%	5.0
二本松	25.0%	35.0%	10.0
<b>県北 (小計)</b>	<b>36.3%</b>	<b>43.1%</b>	<b>6.8</b>
郡山	28.0%	32.0%	4.0
郡山北	36.7%	43.3%	6.6
本宮	40.0%	40.0%	0
須賀川	36.7%	36.7%	0
田村	60.0%	53.3%	-6.7
小野	35.0%	30.0%	-5.0
石川	40.0%	40.0%	0
<b>県中 (小計)</b>	<b>38.5%</b>	<b>39.0%</b>	<b>0.5</b>
白河	10.0%	23.3%	13.3
棚倉	55.0%	60.0%	5.0
<b>県南 (小計)</b>	<b>28.0%</b>	<b>38.0%</b>	<b>10.0</b>

警察署名	第1回	第2回	増減(ポイント)
会津若松	18.0%	22.0%	4.0
会津美里	60.0%	60.0%	0
猪苗代	55.0%	55.0%	0
喜多方	43.3%	50.0%	6.7
会津坂下	70.0%	70.0%	0
南会津	60.0%	65.0%	5.0
<b>会津 (小計)</b>	<b>44.4%</b>	<b>47.5%</b>	<b>3.2</b>
いわき中央	26.0%	30.0%	4.0
常磐	50.0%	45.0%	-5.0
いわき東	50.0%	50.0%	0
いわき南	43.3%	46.7%	3.4
<b>いわき (小計)</b>	<b>39.2%</b>	<b>40.8%</b>	<b>3.8</b>
南相馬	16.7%	6.7%	-10.0
双葉	5.0%	30.0%	25.0
浪江	—	—	—
相馬	40.0%	35.0%	-5.0
<b>相双 (小計)</b>	<b>20.0%</b>	<b>21.4%</b>	<b>1.4</b>
<b>全体</b>	<b>37.0%</b>	<b>40.3%</b>	<b>3.3</b>

※ 双葉警察署浪江分庁舎では、調査対象者が少ないため、調査対象から除外しました。

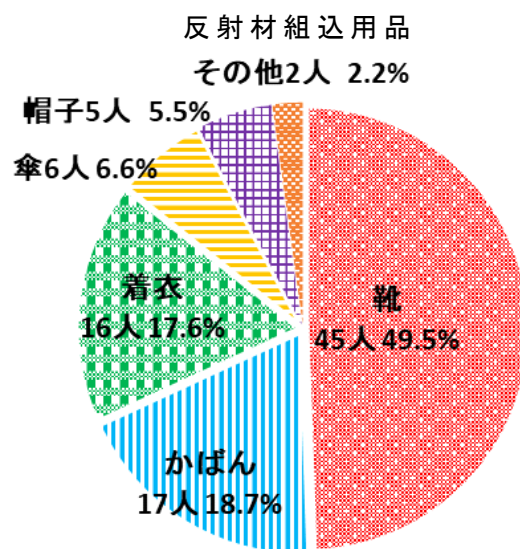
(3) 反射材用品等の種類

・ シール	51人
・ タスキ	62人
・ 照明器具	44人
・ リストバンド	38人
・ キーホルダー	48人



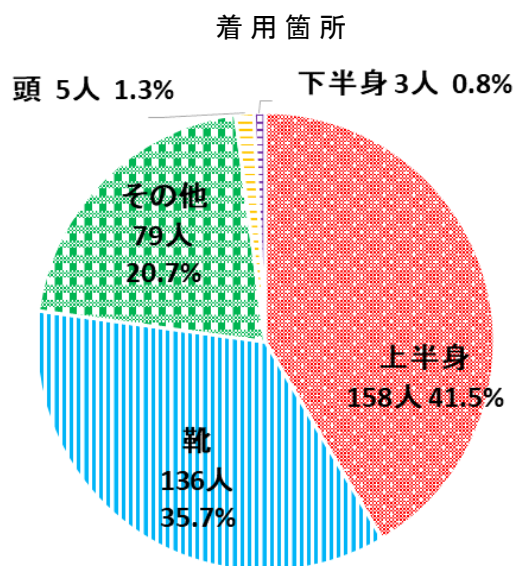
(4) 反射材組込用品

・ 靴	45人
・ かばん	17人
・ 着衣	16人
・ 傘	6人
・ 帽子	5人
・ その他 (エコバッグ)	2人



(5) 反射材用品等の着用箇所

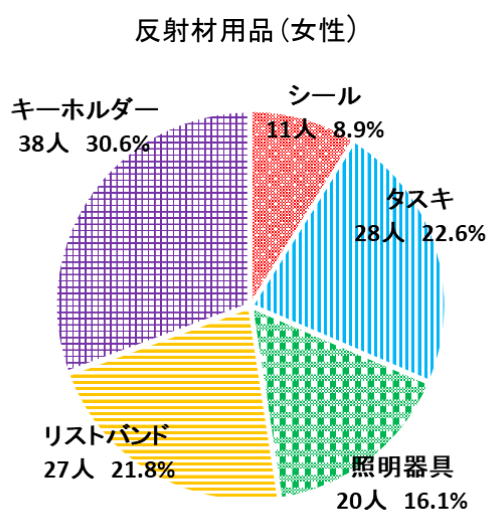
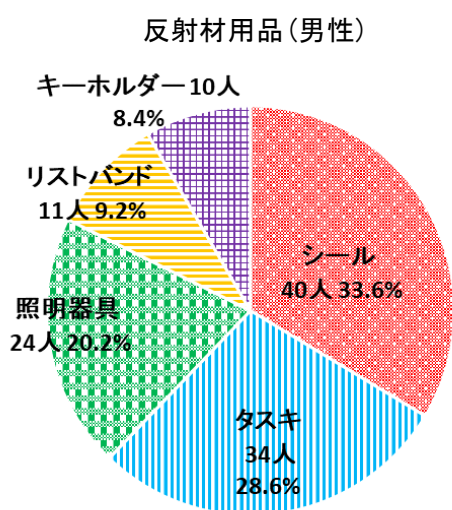
・ 上半身	158人
・ 靴	136人
・ その他 (持ち物等)	79人
・ 頭	5人
・ 下半身	3人



(6) 反射材用品等着用状況（男女別）

ア 反射材用品（男女別）

反射材用品	男	女	計
シール	40	11	51
タスキ	34	28	62
照明器具	24	20	44
リストバンド	11	27	38
キーホルダー	10	38	48



※ 反射材用品の男女別の特徴

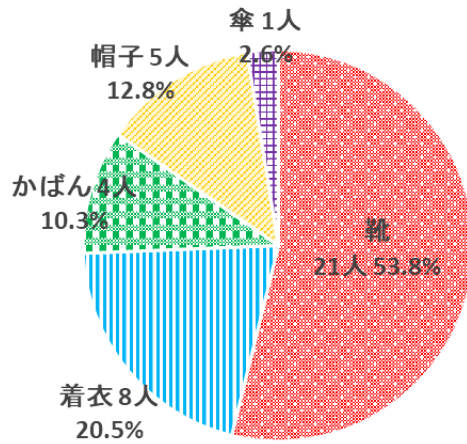
男性はシールとタスキで過半数を占めている。

女性はキーホルダーの着用が多く、タスキ、リストバンドの順となり、3種類で約7割を占める。

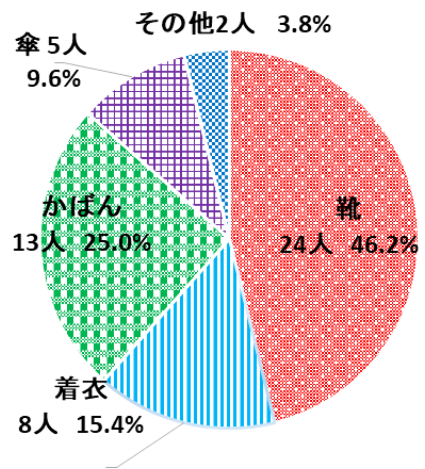
イ 反射材組込用品（男女別）

反射材組込用品	男	女	計
靴	21	24	45
着衣	8	8	16
かばん	4	13	17
傘	1	5	6
帽子	5	0	5
その他	0	2	2

反射材組込用品(男性)



反射材組込用品(女性)



※ 反射材組込用品の男女別の特徴

男女とも靴が多くを占めており、男性は靴に次いで着衣、女性は靴に次いでかばんが占めている。

男性は靴と着衣、女性は靴とかばんで7割を占めている。